

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー静岡校
設置者名	学校法人爽青会

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数	省令で定める基準単位数	配置困難
専門課程(文化・教養関係)	動物看護師科3年制	夜・通信	131	93	
	ペットエステ・トリミング科3年制	夜・通信	94	93	
	ペットエステ・トリミング科2年制	夜・通信	66	62	
	トック・ウェルネス科		68	62	
	動物海洋飼育・アクアリウム科	夜・通信	68	62	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<https://shizuoka.rap.ac.jp/about/information/>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー静岡校
設置者名	学校法人爽青会

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://shizuoka.rap.ac.jp/about/information/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	公認会計士事務所 所長	令和8年4 月1日～令 和10年3月 31日	経理・財務
非常勤	繊維産元、不動産、 介護業他 代表取締役社長	令和8年4 月1日～令 和10年3月 31日	経営機能強化
非常勤	各種プラスチック成形・ 加工業他 代表取締役	令和8年4 月1日～令 和10年3月 31日	多様な意見
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー静岡校
設置者名	学校法人爽青会

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。 (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 各学科教育課程編成委員会ならびに講師会にて、授業内容に関する意見聴取を実施し、出された意見をもとに 2 月上旬までに次年度時間割を作成。 授業計画を 3 月上旬までに作成し、4 月の始業前までに各クラスに配布、WEB サイトにて公表する。各授業第 1 回目のオリエンテーションにて、学生に対して説明を行う。	
授業計画書の公表方法	各クラス配布・校内に設置し自由閲覧
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。 (授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 授業料・その他納入金を完納し、かつ各教科の学期における授業実施時間数の 80%以上出席した者に、学期末試験の受験資格を与える。 出席率・課題提出・レポートと、学期末試験結果をもとに成績評価を実施する。 ABC 評価により、C 以上の評価を受けた者に、履修認定を行う。	
3. 成績評価において、G P A 等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 自己の勉学の状況や順位を把握することを目的に、学生に対し GPA を提示する。ABC 評価での A を 10、B を 8、C を 6、D を 0 とし、全科目の合計を全科目数で割り、算出する。 算出方法は WEB サイト、学生必携に記載し、公表している。	

客観的な指標の 算出方法の公表方法	■学生必携 ■WEB サイト https://www.rad.ac.jp/souseikai/outline/index.html
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 以下3つの要件をすべて満たし、卒業判定会議にて卒業を認められた者に卒業証書を授与する。 1. 卒業認定ライセンス試験に合格していること 2. 各教科の課題を100%提出し、成績評価が全てC以上であること 3. 年間要出席日数の80%位以上出席していること	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	■学生必携 ■WEB サイト https://www.rad.ac.jp/souseikai/outline/index.html

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー静岡校
設置者名	学校法人爽青会

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://shizuoka.rap.ac.jp/about/information/
収支計算書又は損益計算書	https://shizuoka.rap.ac.jp/about/information/
財産目録	https://shizuoka.rap.ac.jp/about/information/
事業報告書	https://shizuoka.rap.ac.jp/about/information/
監事による監査報告（書）	https://shizuoka.rap.ac.jp/about/information/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
文化・教養		専門学校（文化・教養関係）	動物看護師科					
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
3 年	昼間	152	93	0	59	0	0	
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数	
120 人		103 人	0 人	3 人	21 人		24 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 教育課程編成委員会ならびに講師会にて、授業内容に関する意見聴取を実施。出された意見をもとに2月上旬までに次年度時間割を作成。 授業計画を3月上旬までに作成し、4月の始業前までに各クラスに配布。各授業第1回目のオリエンテーションにて、学生に対し得説明を行う。
成績評価の基準・方法
（概要） 授業料・その他納入金を完納し、かつ各教科の学期における授業実施時間数の80%以上出席した者に、学期末試験の受験資格を与える。 出席率・課題提出・レポートと、学期末試験結果をもとに成績評価を実施する。 ABC評価により、C以上の評価を受けた者に、履修認定を行う。
卒業・進級の認定基準
（概要）以下3つの要件をすべて満たし、卒業判定会議にて卒業を認められた者に卒業証書を授与する。 1. 卒業認定ライセンス試験に合格していること 2. 各教科の課題を100%提出し、成績評価が全てC以上であること 3. 年間要出席日数の80%位以上出席していること

学修支援等
(概要) 入学前課題の実施、保護者との連携（保護者会・三者面談の実施）、補習の実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
63 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 入学後の体調管理指導の徹底、学生・保護者面談、学外相談室の活用		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門学校（文化・教養関係）	ペットエッセ・トリミング科3年制				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼間	126	31	0	95	0	0
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30 人		1 人	0 人	2 人	9 人	11 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 教育課程編成委員会ならびに講師会にて、授業内容に関する意見聴取を実施。出された意見をもとに2月上旬までに次年度時間割を作成。 授業計画を3月上旬までに作成し、4月の始業前までに各クラスに配布。各授業第1回目のオリエンテーションにて、学生に対して説明を行う。	
成績評価の基準・方法	
（概要） 授業料・その他納入金を完納し、かつ各教科の学期における授業実施時間数の80%以上出席した者に、学期末試験の受験資格を与える。 出席率・課題提出・レポートと、学期末試験結果をもとに成績評価を実施する。 ABC評価により、C以上の評価を受けた者に、履修認定を行う。	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 以下3つの要件をすべて満たし、卒業判定会議にて卒業を認められた者に卒業証書を授与する。 1. 卒業認定ライセンス試験に合格していること 2. 各教科の課題を100%提出し、成績評価が全てC以上であること 3. 年間要出席日数の80%位以上出席していること	
学修支援等	
（概要） 入学前課題の実施、保護者との連携（保護者会・三者面談の実施）、補習の実施	

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
（主な就職、業界等）			

(就職指導内容)
(主な学修成果(資格・検定等))
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 入学後の体調管理指導の徹底、学生・保護者面談、学外相談室の活用		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門学校（文化・教養関係）	ペットエステ・トリミング科 2年制	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	84	23	0	61	0	0
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		47人	0人	2人	9人	11人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 教育課程編成委員会ならびに講師会にて、授業内容に関する意見聴取を実施。出された意見をもとに2月上旬までに次年度時間割を作成。 授業計画を3月上旬までに作成し、4月の始業前までに各クラスに配布。各授業第1回目のオリエンテーションにて、学生に対して説明を行う。	
成績評価の基準・方法	
（概要） 授業料・その他納入金を完納し、かつ各教科の学期における授業実施時間数の80%以上出席した者に、学期末試験の受験資格を与える。 出席率・課題提出・レポートと、学期末試験結果をもとに成績評価を実施する。 ABC評価により、C以上の評価を受けた者に、履修認定を行う。	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 授業料・その他納入金を完納し、かつ各教科の学期における授業実施時間数の80%以上出席した者に、学期末試験の受験資格を与える。 出席率・課題提出・レポートと、学期末試験結果をもとに成績評価を実施する。 ABC評価により、C以上の評価を受けた者に、履修認定を行う。	
学修支援等	
（概要） 以下3つの要件をすべて満たし、卒業判定会議にて卒業を認められた者に卒業証書を授与する。 1. 卒業認定ライセンス試験に合格していること 2. 各教科の課題を100%提出し、成績評価が全てC以上であること 3. 年間要出席日数の80%位以上出席していること	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
15人 (100%)	0人 (%)	15人 (100%)	0人 (%)

(主な就職、業界等) トリミングサロン
(就職指導内容) インターンシップに向けた業界研究指導、就職課・担任との就職面談実施
(主な学修成果（資格・検定等）) ペットエステティシャン取得、愛玩動物飼養管理士取得、サービス接遇検定取得など
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
36 人	2 人	5.5%
(中途退学の主な理由) 意欲減退		
(中退防止・中退者支援のための取組) 入学後の体調管理指導の徹底、学外相談室の活用		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
文化・教養		専門課程（文化・教養課程）	ドッグ・ウェルネス科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	92	45	0	47	0	0
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		50 人	0 人	2 人	10 人	12 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 教育課程編成委員会ならびに講師会にて、授業内容に関する意見聴取を実施。出された意見をもとに2月上旬までに次年度時間割を作成。 授業計画を3月上旬までに作成し、4月の始業前までに各クラスに配布。各授業第1回目のオリエンテーションにて、学生に対し得説明を行う。	
成績評価の基準・方法	
（概要） 授業料・その他納入金を完納し、かつ各教科の学期における授業実施時間数の80%以上出席した者に、学期末試験の受験資格を与える。 出席率・課題提出・レポートと、学期末試験結果をもとに成績評価を実施する。 ABC評価により、C以上の評価を受けた者に、履修認定を行う。	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 以下3つの要件をすべて満たし、卒業判定会議にて卒業を認められた者に卒業証書を授与する。 1. 卒業認定ライセンス試験に合格していること 2. 各教科の課題を100%提出し、成績評価が全てC以上であること 3. 年間要出席日数の80%位以上出席していること	
学修支援等	
（概要） 入学前課題の実施、保護者との連携（保護者会・三者面談の実施）、補習の実施	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
17人 (100%)	0人 (%)	17人 (100%)	0人 (%)
(主な就職、業界等) ドッグリゾート、ドッグトレーナー 等			

(就職指導内容) インターンシップに向けた業界研究指導、就職課・担任との就職面談実施
(主な学修成果(資格・検定等)) ペット栄養管理士取得、愛玩動物飼養管士二級取得、ペットフード販売士取得など
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
47 人	4 人	8.5%
(中途退学の主な理由) 意欲減退、体調不良		
(中退防止・中退者支援のための取組) 入学後の体調管理指導の徹底、学生・保護者面談、学外相談室の活用		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門学校（文化・教養関係）	動物海洋飼育・アクアリウム科（陸コース）	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	84	30	0	54	0	0
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		74 人	0 人	4 人	11 人	15 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 教育課程編成委員会ならびに講師会にて、授業内容に関する意見聴取を実施。出された意見をもとに2月上旬までに次年度時間割を作成。 授業計画を3月上旬までに作成し、4月の始業前までに各クラスに配布。各授業第1回目のオリエンテーションにて、学生に対し得説明を行う。	
成績評価の基準・方法	
（概要） 授業料・その他納入金を完納し、かつ各教科の学期における授業実施時間数の80%以上出席した者に、学期末試験の受験資格を与える。 出席率・課題提出・レポートと、学期末試験結果をもとに成績評価を実施する。 ABC評価により、C以上の評価を受けた者に、履修認定を行う。	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 以下3つの要件をすべて満たし、卒業判定会議にて卒業を認められた者に卒業証書を授与する。 1. 卒業認定ライセンス試験に合格していること 2. 各教科の課題を100%提出し、成績評価が全てC以上であること 3. 年間要出席日数の80%位以上出席していること	
学修支援等	
（概要） 入学前課題の実施、保護者との連携（保護者会・三者面談の実施）、補習の実施	

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
16 人 (100%)	0 人 (%)	16 人 (100%)	0 人 (%)
（主な就職、業界等） 動物園、牧場、ペットショップ、ペットホテル、			

(就職指導内容) インターンシップに向けた業界研究指導、就職課・担任との就職面談実施
(主な学修成果(資格・検定等)) 玩動物飼養管理士取得、生物分類技能検定4級取得、サービス接遇検定取得など
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
50 人	2 人	4%
(中途退学の主な理由) 人間関係		
(中退防止・中退者支援のための取組) 入学後の体調管理指導の徹底、学外相談室の活用		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門学校（文化・教養関係）	動物海洋飼育・アクアリウム科（水コース）	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間		84	30	0	54	0
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		74 人	0 人	4 人	11 人	15 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 教育課程編成委員会ならびに講師会にて、授業内容に関する意見聴取を実施。出された意見をもとに2月上旬までに次年度時間割を作成。 授業計画を3月上旬までに作成し、4月の始業前までに各クラスに配布。各授業第1回目のオリエンテーションにて、学生に対し得説明を行う。	
成績評価の基準・方法	
（概要） 授業料・その他納入金を完納し、かつ各教科の学期における授業実施時間数の80%以上出席した者に、学期末試験の受験資格を与える。 出席率・課題提出・レポートと、学期末試験結果をもとに成績評価を実施する。 ABC評価により、C以上の評価を受けた者に、履修認定を行う。	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 以下3つの要件をすべて満たし、卒業判定会議にて卒業を認められた者に卒業証書を授与する。 1. 卒業認定ライセンス試験に合格していること 2. 各教科の課題を100%提出し、成績評価が全てC以上であること 3. 年間要出席日数の80%位以上出席していること	
学修支援等	
（概要） 入学前課題の実施、保護者との連携（保護者会・三者面談の実施）、補習の実施	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
16 人 (100%)	0 人 (%)	16 人 (100%)	0 人 (%)
（主な就職、業界等） 動物園、牧場、ペットショップ、ペットホテル、			

(就職指導内容) インターンシップに向けた業界研究指導、就職課・担任との就職面談実施
(主な学修成果(資格・検定等)) 玩動物飼養管理士取得、生物分類技能検定4級取得、サービス接遇検定取得など
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
50 人	2 人	4%
(中途退学の主な理由) 人間関係		
(中退防止・中退者支援のための取組) 入学後の体調管理指導の徹底、学外相談室の活用		